

No.25

2002年

(平成14年)

同窓会だより

— 発行 —

旭川厚生専門学院
同窓会

— 発行者 —

同窓会会長 中尾 絹江

発行年月日 平成14年9月1日

岡山市祇園地先

TEL (086) 275-0145

FAX (086) 275-3283

世界がひとつに



同窓会会長

中尾 絹江

会員の皆様お元気ですか。それぞれの時期を其々にお過ごしのことと存じます。

この六月、生まれて初めてサッカーをじっくりと観戦しました。と言ってもテレビですが技の細やかさ、ルーの激しさ、チームプレーの凄さに感動させられ、日本チームの応援は

さることながら、チコニジア、セネガルという国が何処にあるのか探しました。

ルーベを片手に、ヨーロッパからアフリカ、ロシアそしてアメリカと地球儀をクルクル回しながら、地球を何周もしました。韓国と日本を中心に、サッカーで世界がひとつになっ

岡山支部だより

岡山支部長 西野 順子

残暑の候、同窓生の皆様、先生方には益々ご健勝のことと思います。昨年、十二月六日に三十周年記念式典に参加させて頂きまして、改めて学院の年輪の深さを感じさせられました。

平成十五年度の吉井川キャンパスがこの程完成し、開校に向けて介護福祉科・介護福祉科夜間課程・福祉研究科・精神保健福祉科の移転に向けて二十一世紀の医療福祉を支える人づくりをめざして、新たな歴史をきざもうとしています。

同じくして、平成十五年二月には、



第六回岡山支部会を開催致したいと思っております。一期生を二十歳で卒業された同窓生も五十歳です。子育ても一段落されたのを機会に、三十年振りの交流を深めてみてはいかがでしょう。又、各期の同窓会を支部会で実施されるのも方法と思います。多数のご参加をお待ち致しております。詳しい日程、場所につきましては、改めてご連絡させて頂きます。これからも、益々の学院の発展と活躍をお祈り致しております。

関西支部だより

関西支部長 吉川千代子

残暑の候を迎え、同窓生の皆様、学院の先生方には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

近年目まぐるしく変化している経済社会、医療・福祉社会の中で、ご活躍されておられる皆様本当にご苦労様です。

例年になくこの夏の照りつける陽ざしの中で、私は時折遠い昔学びし学院の自然環境を思い出しつつあります。私は、本当に素晴らしい環境の中で、諸先生方や先輩に恵まれたのびのびと学ばせて頂いた事に今もって感謝しているしだいです。時代は



ているのを実感したように思います。同じ学び舎から、各方面に散らばった同窓生ですが、この「同窓会だより」ひとつで結ばれていると言えれば驚きすぎでしょうか。多くの方に読んで頂き、同窓会に目を向けて下さればと願ってやみません。やうと名簿が完成、一部でも多くご購入いただけるようお願いいたします。また今年は「総会」の年です。多数のご参加をお待ちしております。

広島支部より

広島支部長 松田 憲尚

流れ変わっていても私達は、人とかかわりの中で仕事をさせて頂いております。学院で学んだ総合福祉精神と、個々の経験と知恵をフルに発揮して、私達の後につづく人達が好ましい方向に進んで行けるように頑張っていきたいと思います。笑顔忘れず忘れる事なく……。

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

患者さんから目をそらされる、あるいは遠ざけるようなしぐさをされるといった体験をお持ちの同窓生の方はいらっしゃるでしょうか。振り返ってみて、心当たりと言え、こちら側のほうが先に口数が少なくなったり、アイコンタクトを避けるようになっていたことに気づきませんか。大きな困難がこの先訪れることを承知で、それをついに口に出せなかったことから、絆が切れかかる、または信頼が薄れるといった状態になるのでしょうか。これからの長い付き合いになることをお互いよく知っているのに。

九月に広島市内で同窓会広島支部会を開催します。仲間と一緒に同窓会へ参加していただきますようお願いしております。同窓生の皆さん、元気にガンバってください。



お元気ですか



学院長 藤田 哲輔

同窓生の皆様には益々お元気で活躍のことと拝察いたします。日頃から、本学院の教育推進につきましましては大きなお力添えをいただいておりますことに心よりお礼申しあげます。

今年も三百三十三名の新入生を迎え、全学生七百十六名でスタートし、勉学、実習に励み、それぞれの目標に向かって努力しております。

本年度から介護福祉科夜間課程と精神保健福祉科の二科が新設され、今までの児童福祉科、介護福祉科昼間課程、福祉情報科、福祉研究科、第一看護科、第二看護科に加え、全八科となりました。

介護福祉科夜間課程は週五日、夕方から二コマの講義で、三カ年で国家資格である介護福祉士の資格を取得いたします。昼間、働きながらの勉学ですが、仕事をしたい人、働きながら資格を取りたい人、という人には旭川市内の医療・福祉施設で、昼間、アルバイトをしながら学ぶことができ、今年の第一期生も数名の人が旭川市内でアルバイトをしながら頑張っております。

精神保健福祉科は一年課程で大学四年卒業後の人が精神保健福祉士（PSW）の国家資格を取るための学科であり、今年の第一期生は来年の一月末にある国家試験に向けて頑張っております。

他の学科につきましても、上級生共々、それぞれの目標に向かって努力いたしております。各科とも初めての実習を旭川市内で体験し、人間の成長が見られはじめております。

また、昨年から工事に入っております旭川市西大寺の吉井川キャンパスが先日完成いたしました。今年度は旭川市内のいろいろな研修に使われ、本学院としては来年度開校いたします予定です。開校いたしますと、現在の旭川キャンパスで学んでいる介護福祉科昼間課程、福祉研究科と新しくできた介護福祉科夜間課程、精神保健福祉科の四科が移動していく予定です。吉井川キャンパス近くに学生寮も完備いたしております。

最後に、今年の卒業生の就職状況ですが、おかげをもちまして医療・福祉・保育等の分野に100%決定し、元気に頑張ってくれております。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と感謝いたしております。

現在の学院の状況をご報告させていただきます。

今後の本学院のより発展に向けて、同窓生の皆様方の一層のご支援をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



創立30周年記念式典



平成13年12月6日 学院リズム棟にて

★入試情報

- ☆推薦入試 10月25日(金)
- ☆一般一次入試 1月26日(月)
- ☆一般二次入試 3月5日(木)
- ☆社会人入試 3月18日(火)

★主な年間行事

- ☆キャンパスサービス (10月16日)
- ☆戴帽式 (10月18日)
- ☆第30回学院祭 (11月1、2日)
- ☆卒業演奏会 (2月下旬)
- ☆卒業証書授与式 (3月12日)

卒業生だより

 児童福祉科 矢本裕香子
二十八期生

二十八期生の皆さん、学院の先生方お元気ですか。早いもので学院を卒業して二年が経ちました。

私は現在、総合研修施設で仕事をしています。私の職場には、全国から様々な人々が集い研修を受けています。就職して今までを振り返ってみるといろいろな喜び・不安・葛藤がありました。

一年目は、がむしゃらに仕事をクリアすることで、自信に満ちた日々を送っていました。しかし二年目からは仕事に対する悩み・葛藤を抱え

苦しい日々もありましたが、周囲の励ましに支えられ一段と自分自信成長したように思えます。時には失敗し落ち込むこともありますが持ち前の元氣と根性で頑張っています。

今年はいよいよ三年目。仕事でも新しい企画がスタートしました。学校の完全週休二日制に目を向け、小学生・幼児をターゲットとする「自然体験講座」という企画です。学院の児童福祉科を卒業しているという事が評価され、プロジェクトスタッフとして参加することになりました。

仕事が増えて苦しい時もありますが、楽しく毎日を送っています。とにかく、常にチャレンジ精神と

向上心を持ち、何事にも体当たりで望みたいと思います。ブライベイトでは、空手を習ったり、ミュージカルに参加したり。こちらでも大忙し。寝る暇を惜しんで遊んでいます。(笑)

ところで、二十八期生の皆さん。近況報告と願って同窓会をしたいと思っております。その時は皆さんご参加下さいます様、よろしくお願い致します。

 介護福祉科 光田 好美
十期生

皆さんお元気ですか。学院を卒業して老人保健施設に就職して三年が過ぎました。お年よりの方々の笑顔に支えられ、職場の皆さんに助けられて仕事を続けています。日々、忙しさの中で初心を忘れそうになりますが、今年も新職員さんを迎え、あ

同窓会員数

平成14年3月現在 (平成14年3月卒業生)

同窓生総数 6,119名 (292名)

保育科・児童福祉科	1,242名 (41名)
福祉科・介護福祉科	961名 (78名)
福祉研究科	130名 (24名)
福祉情報科	220名 (11名)
第1看護科	1,825名 (86名)
第2看護科	1,740名 (52名)



『新 学 科 紹 介』

介護福祉科夜間課程



(平成14年7月完成 吉井川キャンパス)

同窓生の皆様方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

社会を支えるさまざまな仕組みが変容するなかで、本年度より2科の新しい科が新設されました。介護福祉科夜間課程がそのひとつです。3年制の男女共学の科で、年齢層も幅広く全員勤労学生です。授業開始時刻は17時50分で、終了時刻は21時です。

今年の第1期生は、暖かい雰囲気の中で熱心に勉学に取り組んでいます。昼間、働きながらの勉強ですので、「無理をしない。継続は力なり」をモットーにし、一人ひとり異なる背景を持った級友と同じ立場で学び、共感し、協力し合いながら豊かな経験を持つ介護福祉士になることを目指しています。

皆様のお知り合いで関心のある方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

(介護福祉科 夜間課程 教務主任 白井恵美子)

精神保健福祉科

平成14年4月『精神保健福祉科』が新設されました。これまで病院や地域の施設で、精神障害をもつ人々への相談・援助や支援を専門的に行ってきた「精神科ソーシャルワーカー」が平成9年に国家資格となり、その正式名称が「精神保健福祉士」となりました。

『精神保健福祉科』は、その国家試験の受験資格を取得する学科で、定員40名の「昼間1年課程」です。一般大学を卒業した方、他の受験条件を満たされた方が、専門のカリキュラムを履修し、国家試験を受験します。

職場は、精神科関係の病院やクリニック、精神障害者生活支援センターなどの社会復帰施設、保健所、精神保健福祉センター等の地域の保健福祉機関等です。

初年度は20名が入学し、精神保健福祉分野の専門家を目指し、国家資格取得に向けて勉強に励んでいます。

(精神保健福祉科 科長 細谷一)

* 詳しくは 学院HP <http://www.asahigawasou.or.jp/gakuin/index.htm>.

みなさん、元気に頑張っていますか？私は特別養護老人ホーム「阿知の里」で働いています。介護福祉士

福祉研究科
七期生 泉谷 加奈

学院を卒業して実家に帰ったまま、岡山には行くことがありません。このままこのまま、近いうちにゆっくり学院のほうに行きたいです。

の頃の自分を振り返っています。

「初心に返る」気持ちで頑張っています。

こう思うこの頃です。

モットーは「笑顔」。心のこもった介護をすることを心がけています。

皆さんもお元気で頑張ってください。

福祉情報科 斎藤絵美子

九期生

学院を卒業して二年がすぎました。

皆さんお元気ですか。私は相変わらずマイ・ペースで毎日を過ごしています。

医療事務ではなく介護職を選んだ私は、今も同じ病院で看護助手として働いています。

病院で患者さんの介護をし、外来で検査や手術に関わり、多くのことを学びながら、また上司・先輩・同僚、多くの親切な人に囲まれ楽しく仕事をしています。

医療事務を選択しなかったことを後悔することもありますが、パソコンをする時間も、とても働きやすい病院です。

今はこのままこのままの病院で仕事の面でも人間としても成長していけるよう、努力していきたいです。

として採用は一人だったので、不安な気持ちでいっぱいでした。

しかし、先輩方や上司の方が私にも優しく接して下さり、丁寧な指導をして頂いています。

そのお陰もあり不安な気持ちも日々薄れ、毎日楽しく働いています。

就職して間もない頃、気難しい利用者に新人の私がおしめをつける事を拒否されていました。

しかし、ここ最近「あんたじゃいけん」など言われながらも、おしめ交換をさせてもらう機会がありました。

利用者はおしめ交換が終わると、「文句言っただけ、えーように出来たわ。悪く言っただけ。」と言われ、

やっとな職員として認めてくれたのかと、とても嬉しい気持ちになりました。

これからは、いろんな出来事があるとは思いますが、みなさんも頑張って乗り越えていきましょう。

たまに会えたらいいですね。

第一看護科 渡辺 朋子

十八期生

同窓生の皆様、お元気に日々お過ごしのことでしょうか。

現在、私は仕事を辞め主婦業に専念しています。

ファミリィは介護福祉士の夫と二歳五ヶ月になる長男と八ヶ月になる長女の四人家族です。

同窓生の皆様も子育て中の方は多くいらっしゃると思いますが、私も毎日が忙しすぎて、時間があっという間に過ぎていく日々でござい

ます。小さな事で笑ったり泣いたりおこったり私も子供と一緒に成長しています。

仕事と育児を両立している方も多

くいらっしゃると思います。本当に大変な事だとつくづく感じます。

どうか皆さん無理をせずたまには息抜きしながら自分の体も大事にしてください。

私もいつかまた仕事復帰するつもりです。

第二看護科 松本美佐子

二十六期生

学院を卒業して、はや四年が経ちました。

同期のみなさんは、それぞれの道で頑張っていますか。私はと

いいますと、地元倉敷で救急外来とICUで勤務しています。

四年経った今でも外来での勤務は緊張が走ります。

一次から三次の様々な患者が来院され、人と人とのコミュニケーションの難しさ、重症患者に対する対応、病態把握の難しさを痛感して

います。日々努力しなければなら

いのですが、なかなかできていないのが現状です。

救急看護をするにあたりうれしき事も数々あります。

交通外傷で外来に運ばれた時には意識がなく、医師から極めて危篤な状態

ですと宣告された十代の患者が徐々に回復し、無事退院された時など生

命力の強さ、家族の信念の強さに感動を覚えます。

毎年、数名の後輩達が就職し今も共に頑張っています。

後輩達から受ける新鮮な看護観は、私に初心に戻らなければと考えさせられる事も多くあります。

これが私の近況報告です。

先生方、同窓生の皆さん、お体に気をつけて、また逢える日を楽しみにしています。

同窓会総会のお知らせ

開催日時 平成14年11月23日(土) 11:00~13:00
 受付 10:30~
 場所 旭川荘厚生専門学院(岡山市祇園地先)
 会費 2,000円

同級生を誘い合ってご参加ください。お子さん連れでももちろんOK!
 昼食を囲んでのリラックスモードの会にしたいと思います。学院の先生方も顔を揃えて待ってられます。
 万障お繰り合わせのうえお顔を見せてください。待っています。
 なお、ご出席を希望される方は、学院同窓会係まで、ご連絡ください。

学院同窓会 TEL 086-275-0145
 FAX 086-275-3283

同窓会員名簿ができました!

当初の予定より発刊が遅れましたことをお詫び申し上げます。購入希望をしてくださった方は同封の振込用紙にてお振込ください。

なお、まだお申し込みでない方も今回少し余裕を持って印刷しましたので、同封の振込用紙にてお申し込みくださいませ。できるだけ多くの方にお申し込みいただきご活用いただければ幸いです。

同封の振込用紙の

ご依頼欄に郵便番号、住所、氏名、電話番号、

通信欄に科名、期生、コメントを

ご記入のうえ、振込用紙を郵便窓口へお願いいたします。

※ 振込いただいた方に随時名簿の送付をさせていただきますので必ず振込用紙のご記入をお忘れなくお願いいたします。

※ 1冊 2,000円で、振込手数料は同窓会が負担いたします。

人事異動

☆退職された先生

尾板 紀子
 竹成 信子
 増田 兼一
 野口 一子

☆新任の先生

時岡 真美子
 森永 篤子
 林井 基子
 荒井 慶子
 上田 千恵子
 藤原 敏美
 池田 敏美

☆荘内移動された先生

山田初美(旭川療育園へ)

編集後記

九月に入り、朝夕いくぶんしのぎやすくなってきましたが、みなさま、いかがお過ごしでしょうか。学院は、年々大きく発展し、来年度の古井川キャンパスの開校に向けて準備しているところです。

この度、みなさまのご協力を得て三十周年記念の同窓会員名簿ができあがりました。ご協力ありがとうございました。

今年は、同窓会総会を学院で開催します。なつかしい学院でみなさまにお会いできることを楽しみにしています。